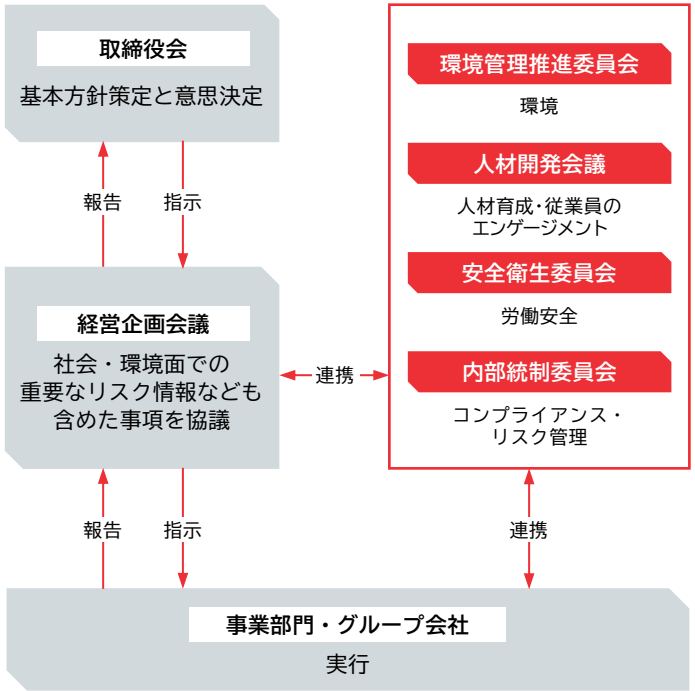
サステナビリティ戦略

基本的な考え方

三社電機グループは、パワーエレクトロニクスと創造力を通じて社会課題の解決に貢献し、持続的な企業価値向上と持続可能な社会の実現を目指しています。その実現に向けて、環境、人材、人権・サプライチェーンを重要な経営基盤と位置付け、事業活動が社会や地球環境に与える影響に十分配慮しながら取り組みを推進しています。また、多様な人材が活躍できる環境づくりや人権の尊重、責任あるサプライチェーンの構築を通じて、ステークホルダーとの信頼関係の強化に努めています。これらの取り組みにより、持続可能な事業基盤を強化するとともに、持続的な成長と企業価値向上を実現し、社会の持続的な発展に貢献していきます。

推進体制



サステナビリティが価値創造を支える仕組み

サステナビリティ戦略

社会からの信頼
人権を尊重し、責任あるサプライチェーンの構築やBCMの推進を通じて、社会からの信頼を高めます。

人を大切にする経営
多様な人材が活躍できる環境をつくり、成長と活力ある組織を実現します。

地球環境との共生
気候変動の緩和と環境負荷の低減に取り組み、地球環境と共生する社会の実現に貢献します。

3つの重点テーマ

事業継続マネジメント（BCM）の強化
BCM基本方針のもと、自然災害やサイバーセキュリティ上の脅威への対応強化に向け、BCP整備や教育・訓練を推進しています。

人権・人材
人権を尊重するとともに、多様な人材の活躍と成長を支援し、持続的な企業価値の向上につなげます。
P28 P29

環境
気候変動の緩和と環境負荷の低減を推進し、事業の脱炭素化と資源の有効活用を進めます。
P31

持続可能な事業基盤の強化

リスクへの対応力を高め、事業の継続性を向上させるとともに、
社会からの信頼を獲得し、競争力のある事業基盤を築きます。